



—東日本大震災から5年—

文化財レスキューの取り組みと“こころ”の復興

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、多くの尊い人命とともに、大量の貴重な文化財も被災しました。

あれから 5 年。東北では、生活再建と地域の復興が進むなか、博物館や大学等の研究機関のほか、民間ボランティアの人々が、「地域文化の復興なくして真の復興はあり得ない」という志のもと、今も文化財レスキュー活動に取り組んでいます。

この講座では、原発事故により故郷、双葉町（福島県）に立ち入れなくなり、大いなる喪失感を抱きながらも、被災地の歴史資料の救出に懸命に取り組んでいる泉田邦彦氏、そして阪神淡路大震災、東日本大震災の二つの大震災後、現地で発掘調査に携わり、復興に向けて懸命に生きる被災地の人々の姿を垣間見てきた丸杉俊一郎氏を講師に招き、私たちにとっての心の拠り所である文化財を後世に伝えるため、何が必要かを、ともに考えます。

日 時 平成 28 年 1 月 31 日（日） 13:30～16:30 ※開場 13:00

会 場 アイセル 21（葵生涯学習センター）1F ホール 静岡市葵区東草深町 3-18

※御来場の際は公共交通機関を御利用ください（バス：県立病院高松線「アイセル 21」下車、駿府浪漫バス「中央公民館前」下車）

【演題】

「地域の記憶」を守るために—東日本大震災における資料保全活動の経験から—

講師 泉田邦彦（東北大学大学院・日本学術振興会特別研究員）

2つの大震災における発掘調査

講師 丸杉俊一郎（静岡県教育委員会文化財保護課）

【申し込み方法】平成 28 年 1 月 5 日（火）から静岡市コールセンターにて受付

TEL 054-200-4894 ※定員：150 名 先着順 無料

主催 静岡市 NPO文化財を守る会
共催 静岡県教育委員会
静岡県文化財等救済ネットワーク
静岡市葵生涯学習センター（アイセル 21）

＜同時開催＞

パネル展：大震災と文化財

～阪神・淡路大震災後の文化財レスキュー～

会 場：アイセル 21 2F ギャラリー

開催期間：平成 28 年 1 月 23 日（土）～2月 7 日（日）

主催：静岡県教育委員会 共催：静岡市葵生涯学習センター